

緑

窓



青山学院中等部緑窓会会報

第10号

2001年(平成13年)5月1日発行

青山学院中等部緑窓会 発行人 白井 茂

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話/FAX 03-3498-5387

風を起こそう

緑窓会会長 白井 茂

緑窓会も昨年創立50周年という大きな節目を迎え、新しい時代に入ってきました。

時代もちよとど21世紀となり、青山学院にも、青山学院校友会にも新しい風が吹き始めているように思います。

青山学院校友会は実数約20万人の会員を擁し、大学部会、女子短期大学部会、高等部会、中等部会、初等部会、神学部会と6つの部会からなる社団法人で、今年で創立108年を迎えます。私達の緑窓会は、この中の中等部会として校友会の組織の一端を担い、現在会員中から11名の評議員と2名の理事が選出されています。

このたび青山学院と校友会が共同で広報誌「AOGAKU Chimes」を発行し、住所の判明している(緑窓会も役員会の了承を得て外部進学者の名簿を提供しました)約18万人の校友全員に送りました。皆様のお手許にはすでに届いている事と思います。

また今年4月から学院本部の校友会と校友会の事務を統合して「校友センター」を発足させ、10月には青学会館の2階に統合された新センターを開設する事になりました。

これらはいずれも学校にとっても校友会にとっても創立以来といっても良いくらい大きな変革で、緑窓会にも大きな関わりのある事ですが、学校と校友とのコミュニケーションを深めるのに大いに役立つ事であると思います。

昨今、少子化により多くの学校が定員割れの危険にさらされており、学校経営が難しいというような事が言われています。

現在是有名校の一つに数えられ、まだ入試の時の高倍率を維持できている青山学院も、一つ間違えば受験生からそっぽを向かれかねないと言った競争の中に置かれています。こうした厳しい環境の中にある私達の母校が、従来にも増して発展して行く為には私達卒業生の協力が必要であるように思います。

私は、昨年の「緑窓会の日」の前日に青山学院校友会の副会長に選出されましたが、緑窓会ばかりでなく校友会のお役に勤めてみて、いま学院当局から校友に対して暖かい風が吹いている事を強く感じています。

緑窓会としては、会員の一人一人がこの風をしっかりと受け止めると同時に、中等部に、青山学院に熱い風を送り返す事によって相互に発展していくような、色々な角度で手を携えていく道を見つけないと思いません。

創立後半世紀を過ぎた緑窓会も、これからは「青山は一つ」の理念のもとに、より多くの力を結集出来るよう、強い風を起こして行きたいと考えております。

会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。



第一号名簿発刊よりたずさわって

一期 余語悦子

名簿が、一九九〇年以來十年目の二〇〇〇年に、第二号を発刊することが出来ました事を、とても嬉しく思っております。初回にたずさわりました者として不備も多かったのですがその点の見なおしが出来た事は、よかったですと思います。同窓会を活発、有意義に継続していくための土台になりますのが名簿、同窓会室に連絡いただきますのも毎日の事で、日々動いております。それを把握し、修正していくのは、同窓会会員皆様の協力あるのみです。会員も十年のあいだに、二千七百余名増えて参りました。コンピュータシステムとハード機器を導入いたしましたし、少しずつ軌道にのっては参りましたが、まだまだ動きはじめた所でございます。

一期生として、若い方たちが活動していつて下さるのが頼もしく又、期待もしております。この名簿完成のかけに、中等部石出道雄先生、各期幹事の方々、高等部同窓会のご協力がありました事を、つけ加えさせていただきます感謝申し上げます。

「小さな小さな積み重ね」

三期 飯村 肇

二十一世紀を迎え十年ぶりに「緑窓会名簿二〇〇〇年版」が発刊された。

今回の「緑窓会名簿」は四二期から五一期の卒業生三、〇〇〇名弱を新たに加え約一五、〇〇〇名が収録、掲載されている。

この一五、〇〇〇名は「ヒトコロ」にじっとしている訳ではない。何人も住所が毎日のように変更される。引越しの都度、几帳面に連絡の有る友、無い友、長い間、音信不通だった友が突然復活することもある。

この名簿によりクラス会、同期会、同好会、緑窓会の日などの通知が出されて、「久しぶりの再会を喜び、童心に帰って楽しい会話を交わし絆を深める緑窓会会員の姿」を思い浮かべながら毎週火曜日に緑窓会事務室で、会員の住所変更通知を整理し原簿の修正作業に取り組んでいる多数のボランティアの「小さな小さな積み重ね」により「緑窓会名簿二〇〇〇年版」は完成した。名簿の有効活用を願うと共に住所変更連絡のご協力を切にお願いしたい。

名簿発行を終えて

十八期 西本由里子

昨年夏頃から本格的な名簿作成の作業が始まった。消息のわからない人や転居された方々の情報を、本人は勿論、各期の幹事・高等部同窓会から頂き、少しでも正確にと手直しを行った。会員約一万五千人の住所を把握する事は、単純ではなく、日本国内はもとより世界中に居住されている方のアルフ

アベット一つの確認にも時間を要した。又、二つの情報のどちらが正しいか判断に迷う事も多々あり、確認作業の限界を痛感することもあった。

ただ毎週火曜日、先輩方の御協力により、暖かい雰囲気の中で学年を越えての作業が出来た事は、色々な意味で良い経験となった。今後も是非若い期



緑窓会室にて

の方にも、お手伝い願えればと、思っている。

十二月の末に名簿が完成して一段落と思っている所、既に住所変更の知らせが緑窓会室に寄せられている。この作業はつくづくエンドレスだと改めて思う。そして一人でも多くの方々に、毎年の「緑窓会の日のお知らせ」と会報「緑窓」が届くように努力したいと思う。

「緑窓会の日」ご案内

記

- 日時 2001年6月16日(土)
場所 青学講堂および青学会館
内容
1. 礼拝 説教 棟居 勇氏
 2. チャンタミットの報告
飯久保 廣嗣氏
棟居 勇氏
 3. コンサート
青山学院大学OBグリーンハーモニー
 4. 懇親パーティ
青学会館2階 シャロン・ミルトス

今年も「緑窓会の日」が下記のとおり開かれます。

礼拝のあと、チャンタミットの報告そして青山学院大学卒業生のグリーンハーモニーのコンサートを楽しみたいと思います。

今年の懇親会は青学会館に場所を移し2Fフロアを借り切ったパーティです。時間も例年より長くとり、バイキング形式でお酒もご用意いたしました。なつかしい中等部の頃の写真パネルなども貼って楽しく盛り上げたいと計画しております。

あの頃の先生もできるだけたくさんお招きいたします。

なつかしい旧友と久しぶりに顔を合わせて楽しく歓談しませんか。

「創立50周年 緑窓会の日」の御報告

十期 今村和久

昨年の二〇〇〇年六月六日(土)に開催された緑窓会の日は、会の創立五十周年を迎えた記念すべき日でした。会のモットーであります「原点・祝祭・継続」をあらためて認識したいと考え、これに沿った計画を立案し、関係の皆様方の御協力を戴き、実行することができました。野村祐之先生(十四期)より「塩と光と中等部・二十世紀をめざして」と題した奨励は感動深い内容でした。司会には一期の飯久保廣嗣氏、オルガンも十七期の真藤純一氏と、全てが卒業生にて行われた礼拝でした。また、これに引き続き、御来賓として御出席戴いた羽坂勇司理事長、深町正信院長、大村修文高中部



緑窓会の日



ティータイム

タイのチャントミット社の活動について 日本キリスト教団奥沢教会牧師 社団法人好善社理事長

棟居 勇



昨年六月、八期の門田美智子さん、鳥居照子さんと、タイのチャントミット社の働きの一端に触れる旅行をご一緒することができ、大変嬉しいことでした。貴緑窓会は、もう十年以上チャントミット社を覚えて献金を送り続けてこられ、それが用いられてあちこちに実を結んでいることを現地にご覧になることができ、とてもよかったです。

チャントミット社の創立（一九八七年）は、一九八二年当社前理事長藤原偉作とカンチャナ女史との出会いに始まります。一九八〇年になって国外にも目を向けはじめ、台湾に続いてタイに足を向けた時、タイ国厚生省医官として対応してくれたのがカンチャナ女史だったのです。同じクリスチャンとして意気投合し、藤原の勧めで熟慮の末役所を退官しチャントミット社を立ち上げたのです。このような女史の主にある尊い決断を受けて当社もチャントミット社のため協力を惜しまない約束をし、協力・支援の関係を今日まで続けてきました。

長の各先生方より貴重な御祝辞を賜り感謝でした。懇談のティータイムの後、懐かしい「青山学院の歌（作詞・豊田実、作曲・團伊久磨）を全員で合唱し、更に團伊久磨先生より「創るということ」と題して御講演を頂戴しました。引き続き、青山学院管弦楽団（指揮・清水宏之氏）による、ウェーバー歌劇「オベロン」序曲、ドヴォルザークの交響曲第8番」の演奏を楽しませてもらいました。約三〇〇名の方々が青山学院講堂に参集されましたが、今後はもっと多くの方々が毎年お見えになるように期待しつつ、企画も検討していきたいと考えております。

私たち好善社は単なるNGO団体でなく信仰団体であり、キリストの福音によってハンセン病を病む人々が人間

回復・人間解放を果たすことを何よりも第一に考えています。チャントミット社もまさに同じような信仰団体として活動しています。国を異にする間でもよくぞ同じような団体が結成された。これは神業（かみわざ）としか考えられないと、私たちはこのことを非常に大切に受け止めています。

このようにして好善社、チャントミット社、今後とも相携えてハンセン病を病む人々のための歩みをともししていきます。そのような意味で、緑窓会の皆さまにおかれましては、今後チャントミット社とともに日本国内の私たち好善社をお覚えくださり、ご支援いただければ幸いです。

タイのハンセン病コロナーを たずねて

八期 門田美智子

昨年六月、同期の鳥居さんと二人でタイに行ってきました。バンコクの空で、棟居牧師、阿部看護婦（好善社社員）そしてチャントミット社のタウイー理事長夫妻に出迎えられ、そのまま東北部のラヨンという所まで約四時間車で走りました。そして次の日、三十分ほど走った森林の奥地にあるドンタップコロナー内に作られた保育所の開所式に出席しました。

一九九四年にDr.カンチャナから、緑窓会宛に献金に対する礼状と共に数枚の写真が同封されてきました。牧師の

ための家の建築に献金が使われている旨が書かれていて、その建築途中の写真でした。はからずも私達が行ったドンタップコロナー内の教会がそれだったのです。

最初に牧師としてその小屋に住んだスーダイ牧師も出席していました。私達はこの場所、この小さな集会所に皆共々に集えた事を神に感謝して祈りを捧げました。そして、今回その横に保育所が出来ました。これも私達の献金の一部が使われているという事でした。私達から見ると、ブロックの倉庫の様なもので、大きな窓が風通しのために開けられているだけのものです。タイ東北にはコロナーが五ヶ所あるのですが、遠いコロナーから障害の重い患者さん達も多数出席していました。この新しい保育所を守っていくのは、まだ若いご夫婦です。私達はお祝いに持参した「だるま」にお二人で目を入れてもらい、これからの発展を祈りました。

次のコロナーへの移動には七時間余りかかりました。しかし車中では、阿部さんを中心にタイ語と日本語のおしゃべり、そして途中の果樹園でおいしい果物を買って求め、舌つづみをうち、時間のたつのを忘れるほどでした。移動先のコロナー内の教会で、最初の保育所の開所式で会った人達と再会し、一緒に礼拝をして、牧師夫妻の手作りの食事をご馳走になり、本当に行く先々で心の暖まる出迎えをうけまし



保育所開所式 前列左から2人目、鳥居、門田、棟居牧師

た。
最後の日に、阿部さんが一九九〇年から好善社より派遣されているコンケン感染病院へ行き、院長よりスライドを見ながら病気の話を聞き、阿部さんの働く病棟に案内されました。開放的な明るい病院内で、患者さん達ものんびりとベッドに横になったり、杖をたよりに歩いたりしています。みんなおだやかな顔をしています。しかし実際の傷の手当てなどを眼のあたりにすると、とても言葉では表現出来ない

症状です。文字では何にも伝えられない様な気がします。私達が心に深く思った事は、ただひたすら彼等の傷がこれ以上悪くならない様に、何とかしてあげたいという強い気持ちで、患者さん達にかかわっている阿部さんの様な人がいるという現実を見た事です。
大都会に生まれ育ち、何の不自由も感ずる事なく今まで当たり前に生活してきている私達に、何が出来るのでしょうか。

最後の夜、アメリカから帰国されたばかりのDr.カンチャナも加わり、夜の更けるのも忘れて、ディスカッションしました。そして、現実問題として「いくらでもいいですから送金してください。それが一番ありがたいのです」という阿部さんの言葉、そして実際に十年もタイで患者さんと共に病とたたかってきた彼女の切なる要望を大変重く受けとめました。

緑窓会も十年間、チャンタミット社に献金してきました。今回タイにきてそれが充分活かされているのを見る事が出来ました。できることならば、これからも、あの森林の中のコロニーで生活するハンセン病に苦しむ人々の力になりたいという思いを二人共に胸に抱いて帰国の途につきました。一度病魔に冒されながらも、不思議におだやかな笑顔をたたえた人々にもう一度会いに行きたいと思っています。

同期会便り

卒業半世紀

一期 薄井康弘

中等部を一期で卒業して早や半世紀以上、光陰矢のごとし、改めて年齢を意識している。一期生は戦中から戦後（この言葉も古典的となったが）にかけての大きな社会変動の中、教育も一大改革が起り、改革児のトップバッターになった。昭和十六年四月から当時の尋常小学校の名称が国民学校に変わり、戦時体制下での初等教育に移行し、昭和二十二年三月まで存続、一年生で国民学校に入学し、六年間国民学校の教育を受け卒業したのは、私達一期生の同級生だけであった。自己紹介で、



1 期 会

「私は小学校に通わなかったし、卒業もしていません」とジョークを言ったこともあったが、今では通じない話となった。昭和二十二年四月から現在の六・三・三制が施行され、この新制度の新制中学一年生に入学し、真新しい校舎で、新しい教育を受けたのが一期生であり、言うなれば、全国的に一期生である。当時は、この新制度にさまざまな批判や不満もあった様だが、人間形成に大切な時期、安心して、青学で学べたことに感謝している。

今なお伝統の上に新風を取り入れた素晴らしい校風で、学生達を育んでいる青学に、一同窓生として誇りを感じている。少年老い易く学成り難し。青学で学んだ精神は、私達の中で脈々と今でも流れている。

今年は二十一世紀の幕明けの年、緑窓会のメンバーは全員二十世紀の同窓生、卒業生で、二十一世紀と言う新生と一緒、新しい人生の勉強に励みたいと老骨に鞭打つ毎日である。

平成十二年十二月三日 中・高等部一期会に参加して（於青学会館オオゾラの間）

青山学院二〇〇一年二期の会開催

二期 春日井恭四郎

平成一三年三月一〇日に青学会館において中等部、高等部合同の「二期の会」同窓会が開催されました。

五年前に「還暦」の会を開いて以来



2 期 の 会

よ」とのご教示も頂いた次第です。礼拝、先生方のショートスピーチに続いての二時間半の懇親会はまたたく間に過ぎ、再会を約して散会となりました。次回開催は多分五年後の「古希」の会になると思いますが、今回よりも多くの方々がお元気な姿でご参加下さるようお願いいたします。

TV 番組紹介

「私を旅館に連れてって」

四月十一日スタート
フジテレビ

水曜日 午後九時～九時五十四分
出演 観月ありさ・中井貴一

浅野ゆう子・風間杜夫・他

内容 夫の遺した遺産寸前の旅館を元三流モデルだった女性が建て直しに奮闘する。

ドラマの舞台になる旅館「花巻」に伊豆湯ヶ島温泉の「落合楼」が使われました。旧館と新館を対立する別の旅館として、三月初旬から撮影に入っているようです。

「落合楼」は一期生の足立頭・和代氏ご夫妻が経営され、専務にご子息の足立公昭氏（二十一期）・フロント係に浅生山秀夫氏（二十八期）が活躍されている。中等部には縁の深い旅館です。

盛り上がった窪ちゃん会

三期 三上良治

昨年十月二十一日青学会館で三期生有志によって、窪田道二郎先生の傘寿をお祝いする会を催しました。

先生は一九五〇年に中等部に着任され、早速担任を受け持たれたのが我々二Fでしたので、我々三期生が窪田先生にとつて最初の教え子ということになります。先生に担任として指導を受けた二年F組、三年F組を中心に、元生徒達が五十人ほど集まり、お元気な先生を開んで楽しいひと時を過ごしました。

相変わらず背すじを伸ばしたお姿はピシッと決まっていて、後日祝賀会の写真を見た女房曰く、「先生よりも老けて見える生徒がいるわよ」。

現在、先生は山梨県の忍野村に住んでいらつしやいますが、お祝いの会に出席するためにご自宅からバイクを駆って上京するお積もりだったようです。さすがにご家族の猛反対を受けて断念されましたが、それほど若い先生です。

傘を八本立てたケーキ・カットで始まり、張りのある先生のご挨拶を頂いたあとは歓談の時間です。すぐに五十年前にタイムスリップしたようです。中等部時代に教わった社会科の内容を覚えている元生徒はいないようでした。『産業革命』という単語は、皆の脳裏にこびりついていました。



窪田先生の傘寿の会

二年、三年の夏休みでの蓼科の山荘での合宿生活。山に登ったり、西部劇気分で馬に跨ったり、先生と奥様のご苦勞をよそに、はしゃぎまわっていた悪童達。あれこれと話が弾んでいる内にいつの間にか閉会の時間となり、名残を惜しみつつ先生をお見送りしました。

四期同期会 鬼怒川温泉旅行

四期 志賀俊也

昨年十月十六日（月）～十七日（火）に、中高合同の同期会として鬼怒川温泉旅行を開催しました。中高合同の企画は初めての試みで、皆様にご案内をした

の久しぶりの集いで、先生を含め約一二〇名が参加し、中等部卒業後半世紀、満五〇年の節目に同期生一同旧交を温めました。

中等部からは西川道子先生、原田萬三先生、平間健夫先生、高等部からは田中登喜先生、波多江（内ヶ崎）幸枝先生、大井法子先生、斎藤賢先生、鈴木正一先生、が出席されました。

当然のことながら我々より大分年長であるにも拘わらず先生方は大変お元気でカクシヤクとされており、「人生のゴールデンタイムは六五歳からです

所四八名（内中等部のみで他高校に行かれた方三名）の方々が参加して下さい、久しぶりにくつろいだ歓談の一夜を過ごしました。

宿泊先は、鬼怒川温泉「あさやホテル」、高等部同期の矢木沢君経営のホテルで良い部屋を提供していただき、美味しい料理と飲物で会は盛上がりしました。同期会に初めて参加された方も六名程いらっしゃり、久しぶりのオシヤベリを楽しまれ二時間ほどのパーティーは瞬く間に過ぎ、続いて同ホテル内のカラオケルームに席を移し、歌も交えて歓談し十一時過ぎによりやくお開きとなりました。：部屋に戻ってからも更に飲んでいたひとも：

翌朝、ホテルで解散し有志は日光を散策し、あるいはそのまま真っ直ぐに帰途に就かれたようです。

今回初めて、中等部四期同期会を高等部四期同期会との合同開催として行いましたが、今後も合同開催の形で中高四期の同期会を開きたいと思っております。次回は東京で開く予定ですので、どうぞご参加下さるようお願いいたします。

「ヤング60の会」

七期 村瀬葉子

”紫におう西郊の森”と青山学院のカレッジソングを声高らかに歌っていた同期の学友達。ティーンエイジャー

だった私達も早や六十才になりました。

今回、「ヤング60の会」に集まれの呼びかけに、同期生、そして中高部の諸先生方をお招きして晩秋のひとつきをすごしました。久しぶりの再会に遠く山形、神戸、沖縄などからもかけてくれました。又なつかしい先生方にもお会いする事が出来ました。お互いの体型や髪のうすさなど気にしながら、年月の流れの速さに思わずとまどいながら、気持ちはいつしか中等部時代へ。ワイン片手に昔話に花が咲きました。木造校舎のミシミシと音のする廊下を走りまわり、藤棚の下で仲良しの二人やグループ仲間が語り合い、礼



7期「ヤング60の会」

拝に遅れて先生にチョッピリ叱られたりと、走馬灯の様に思い出話はつきません。昔好きだったあの人、この人、今はもう時効だよネと笑って話せる楽しさは同期生ならでは。と思いました。七期の仲間は多種多才な人が多く、いろいろな分野で活躍している仲間が集まりました。しかし何となく、皆んな疲れている様に見えるのですが、その見えたのは私だけでしょうか。移り変わりの厳しいこの世の中、又次に会う時まで、お互いに元気でいたいという思いを強く感じながら呑んで歌って、しゃべって夜の更けるのも忘れて、別れを惜しみつつ、家路についた一日でした。

故佐藤周象先生を偲んで 十四期 三D、旧一D 同窓会

十四期 石井頼子

故佐藤周象先生が担任を持たれたのは十四期の一D、二D、三Dの三年間だけだったと聞いております。私達は先生のお元気なうちにクラス会を持ってなかったのですが、まるで先生のお力が働いたように、三月三日に二クラス合同の同窓会を開くことができました。

中等部を卒業して四十年近くたっても、かつての木造の校舎や礼拝堂のたたずまいが昨日の事のように思い出されました。そして一人一人の思い出の



14期 同期会

なかには周象先生がいつも静かに微笑んでいらっしやいました。私達は、成長にとっても大切な中学生の時期に先生の教えを受けられた事を感謝し、再会を約束して会を終えました。



「やまんちの会」

十五期 伊藤正道

平成十三年二月二十四日、やまんち（山内政清先生）の笑顔に又会えました。それもF組そして十五期の皆で！一九六四年私達の卒業送別会「F組のミュージカルだよ」で卒業生代表だった山内政清君がこの三月ひとまず教師を卒業される事となり「やまんちの会」を開きました。第一部は中等部教室での最終授業！初めは緊張されていた先生も、途中からはさすがにいつもの、昔のペースに。指されて答えられなかった人、とんちんかんな答をした人、テストはなかったけれど久しぶりに真剣になれたひと時でした。そして校友会館での十五期らしい暖かな懇親会がつぎきました。全員からの想い出メッセージ、先生に贈った「卒業証書」、「最終授業のビデオ」そしてなつかしの中等部旧校舍正面階段で写した卒業時のクラス写真。やまんちの涙と笑顔に育かれた大切な中等部時代を、今でも心に抱えている事を語りつつ、「やまんちの会」は、お開きとなりました。



15期 やまんちの会

「坂東三津五郎襲名」

二十二期 守田 寿

まずもってこの度の私の十代目坂東三津五郎襲名披露に際しまして、中部緑窓会の皆様をはじめとして、青山学院校友会の皆様にも多大な御支援を賜りましたこと、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

おかげ様で二月十七日の青山学院総見の日は大盛況で雰囲気も最高で、「口上」や「め組の喧嘩」では青学に因んだセリフやアドリブが数多く飛び出し、まことになごやかなうちに大きな盛り上がりを見せ、無事に終演となりました。

長い歌舞伎の歴史のなかでも役者の母校が全館貸し切りを行うということはまず例がなく、青山学院の暖かさ、すばらしさを改めて痛感いたしました。

中等部での三年間、私はずっと牧野和雄先生がご担任のクラスで学びました。厳しいなかにも毅然とした先生の教えに多くのことを学ばせていただきました。先生のもとで学んだことは私の人生の大きな財産となっております。

またテニス部に所属し、その当時軟式だったテニス部を、今後を見据えて我々の代で相談し、硬式テニス部に変更したのも懐しい思い出です。

そのほか、修学旅行以外にも銚子や奥日光へ、じつに自由で伸びやかな旅



行をさせていただいたことも、楽しい思い出として残っています。各々の個性を尊重し伸ばして下さい、すばらしい学校であったと思います。

28期 同期会のお知らせ

6月16日(土)

例年通り、同期会を行いますのでご出席下さい。

場所、時間は別途お知らせ致します。

幹事 南 田中(旧姓 浜田)

会 計 報 告

財 産 目 録

2001(平成13)年 3月31日

| 資 産 の 部 | | 青 山 学 院 中 等 部 緑 窓 会 |
|-----------------------|----------------|---------------------|
| 科 目 | 摘 要 | 金 額 |
| 現 金 | 現金手許有高 | 28,685 |
| 銀 行 預 金 | さくら銀行 普通預金 | 2,023,608 |
| | さくら銀行 定期預金 | 5,042,933 |
| 郵 便 貯 金 | 東京貯金局 | 120,220 |
| 仮 払 金 | 名簿委員会 | 300,000 |
| 資 産 合 計 | | 7,515,446 |
| 負 債 の 部 | | |
| 科 目 | 摘 要 | 金 額 |
| 前 受 金 | 新入会員維持会費 274名分 | 548,000 |
| 仮 受 金 | チャントミット献金 | 24,374 |
| 負 債 合 計 | | 572,374 |
| 差引正味財産 | 正 味 財 産 | 6,943,072 |
| 負 債 お よ び 正 味 財 産 合 計 | | 7,515,446 |

以上の通りであります。

会 長 白 井 茂 会 計 岩 永 晴 美
副 会 長 今 村 和 久 同 王 尾 京 子
同 中 野 凱 美 監 事 木 村 敏 夫

2000(平成12)年度収支計算書

自 2000(平成12)年 4月1日
至 2001(平成13)年 3月31日

| 青 山 学 院 中 等 部 緑 窓 会 | | | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 会 報 作 成 費 | 890,925 | 会 費 収 入 | |
| 会 報 発 送 費 | 1,124,746 | 2000年度入会金 | |
| 名 簿 管 理 費 | 210,000 | 274名 | 822,000 |
| 事 業 費 | 582,744 | 維 持 会 費 | 4,883,500 |
| 事 務 用 品 費 | 62,571 | | |
| 会 議 費 | 46,615 | | |
| 交 通 費 | 214,060 | 諸 収 入 | |
| 印 刷 費 | 66,616 | 預 金 利 子 | 2,462 |
| 水 道 光 熱 費 | 12,000 | 雑 収 入 | 40,000 |
| 通 信 費 | 131,005 | | |
| 慶 弔 費 | 90,870 | | |
| 雑 費 | 60,007 | | |
| 寄 付 金 | 100,000 | | |
| 名簿発刊補助金 | 500,000 | | |
| 本年度支出合計 | 4,092,159 | 本年度収入合計 | 5,747,962 |
| 当年度収支差額 | 1,655,803 | 前年度繰越収支差額 | 5,287,269 |
| 次年度繰越収支差額 | 6,943,072 | | |

中 等 部 便 り

★二〇〇一年度人事

部 長 大 村 修 文
副 部 長 布 施 英 俊
教 頭 奥 津 光 佑
宗 教 主 任 石 丸 泰 樹
教 務 委 員 長 山 本 節 子
指 導 委 員 長 朝 野 圭 三
教 育 研 究 委 員 長 千 輝 克 忠

★異動

退 任 石 川 照 男 先 生

一九七二年四月より二十九年間英語科教諭として教壇に立たれていました。三月に定年で退職されました。今後のご健勝なる事をお祈りいたします。

★二〇〇二年度より

*入学試験科目

左記のいずれかを選択する方法になります。

二科目(国・算)

四科目(国・算・社・理)

*週五日制

月曜日～金曜日・三十時間になります。

*総合学習導入

教科に拘らない、幅広く・奥行のある授業がなされます。

事 務 局 便 り

各期の幹事の皆様のご協力を得て、名簿の発刊と発送も無事一段落致しました。今は第十二回「緑窓会の日」にむけて準備を進めています。コンピュータを導入して少しずつ作業も前進しておりますが、手が足りません。コンピュータが得意な方のボランティアをお待ちしています。緑窓会室は毎週火曜日午前十一時～四時三十分まで開けております。月一度でも結構ですので会員の皆様(特に若い期の方達)のご協力をよろしくお願い致します。尚、「緑窓会名簿」の残があります。一冊二、五〇〇円(送料含む)です。ご希望の方は電話、ファクシミリにてご注文下さい。振り込み用紙をお送りします。「緑窓会の日」にも販売致します。又住所変更等のご連絡もよろしくお願い致します。

